

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信（リート）	
信託期間	約10年間（2012年6月27日～2022年6月13日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	円ヘッジコース （毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II-グローバル・リートα・ファンド（円ヘッジクラス）」（以下「リートα・ファンド（円ヘッジクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	通貨セレクトコース （毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II-グローバル・リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）」（以下「リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
運用方法	円ヘッジコース （毎月分配型）	①主として、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）の受益証券を通じて、リートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③リートα・ファンド（円ヘッジクラス）では、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。
	通貨セレクトコース （毎月分配型）	①主として、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）の受益証券を通じて、リートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）では、為替取引を活用して、選定通貨（※）で実質的な運用を行いません。 ※当ファンドにおいて、選定通貨とは、投資対象とする外国投資信託の通貨運用助言会社の助言に基づき決定した複数の通貨をいいます。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。	

# 通貨選択型ダイワ先進国リートα

円ヘッジコース（毎月分配型）  
通貨セレクトコース（毎月分配型）

## 運用報告書（全体版）

第48期（決算日 2016年7月13日）  
第49期（決算日 2016年8月15日）  
第50期（決算日 2016年9月13日）  
第51期（決算日 2016年10月13日）  
第52期（決算日 2016年11月14日）  
第53期（決算日 2016年12月13日）

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「通貨選択型ダイワ先進国リートα円ヘッジコース（毎月分配型）／通貨セレクトコース（毎月分配型）」は、このたび、第53期の決算を行ないました。

ここに、第48期～第53期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5735>  
<5736>

通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型)

★円ヘッジコース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P先進国リート指数 (現地通貨建て)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
24期末(2014年7月14日)	9,272	80	0.5	13,652	1.8	0.0	98.9	2,573
25期末(2014年8月13日)	9,186	80	△0.1	13,659	0.1	0.0	98.8	2,476
26期末(2014年9月16日)	9,076	80	△0.3	13,512	△ 1.1	0.0	98.8	2,380
27期末(2014年10月14日)	8,889	80	△1.2	13,471	△ 0.3	0.0	99.1	2,232
28期末(2014年11月13日)	9,117	80	3.5	14,369	6.7	0.0	98.9	2,162
29期末(2014年12月15日)	9,079	80	0.5	14,747	2.6	0.0	98.9	1,766
30期末(2015年1月13日)	9,124	80	1.4	15,736	6.7	0.0	98.9	1,676
31期末(2015年2月13日)	9,069	80	0.3	15,969	1.5	0.0	98.8	1,664
32期末(2015年3月13日)	8,796	80	△2.1	15,496	△ 3.0	0.0	98.2	1,595
33期末(2015年4月13日)	8,821	80	1.2	15,833	2.2	0.0	98.9	1,568
34期末(2015年5月13日)	8,410	80	△3.8	15,206	△ 4.0	0.0	98.7	1,495
35期末(2015年6月15日)	8,184	80	△1.7	14,898	△ 2.0	0.0	99.0	1,420
36期末(2015年7月13日)	8,141	80	0.5	14,941	0.3	0.0	99.2	1,375
37期末(2015年8月13日)	8,140	80	1.0	15,266	2.2	0.0	99.2	1,370
38期末(2015年9月14日)	7,705	80	△4.4	14,294	△ 6.4	0.0	98.6	1,269
39期末(2015年10月13日)	7,979	80	4.6	15,319	7.2	0.0	99.2	1,280
40期末(2015年11月13日)	7,841	80	△0.7	15,046	△ 1.8	0.0	98.9	1,226
41期末(2015年12月14日)	7,776	80	0.2	15,064	0.1	0.0	98.2	1,228
42期末(2016年1月13日)	7,714	80	0.2	15,057	△ 0.0	0.0	98.6	1,157
43期末(2016年2月15日)	7,417	80	△2.8	14,350	△ 4.7	0.0	98.9	1,122
44期末(2016年3月14日)	7,811	80	6.4	15,893	10.8	0.0	98.3	1,147
45期末(2016年4月13日)	7,868	80	1.8	16,434	3.4	0.0	98.9	1,098
46期末(2016年5月13日)	7,860	80	0.9	16,715	1.7	0.0	98.1	1,087
47期末(2016年6月13日)	7,806	80	0.3	16,683	△ 0.2	0.0	98.9	1,053
48期末(2016年7月13日)	7,890	80	2.1	17,579	5.4	0.0	98.7	996
49期末(2016年8月15日)	7,822	80	0.2	17,653	0.4	0.0	99.5	961
50期末(2016年9月13日)	7,556	80	△2.4	17,080	△ 3.3	0.0	99.0	899
51期末(2016年10月13日)	7,290	80	△2.5	16,434	△ 3.8	0.0	99.0	851
52期末(2016年11月14日)	6,828	80	△5.2	15,667	△ 4.7	0.0	98.3	800
53期末(2016年12月13日)	7,055	80	4.5	16,519	5.4	0.0	98.3	808

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P先進国リート指数(現地通貨建て)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P先進国リート指数(現地通貨建て)の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

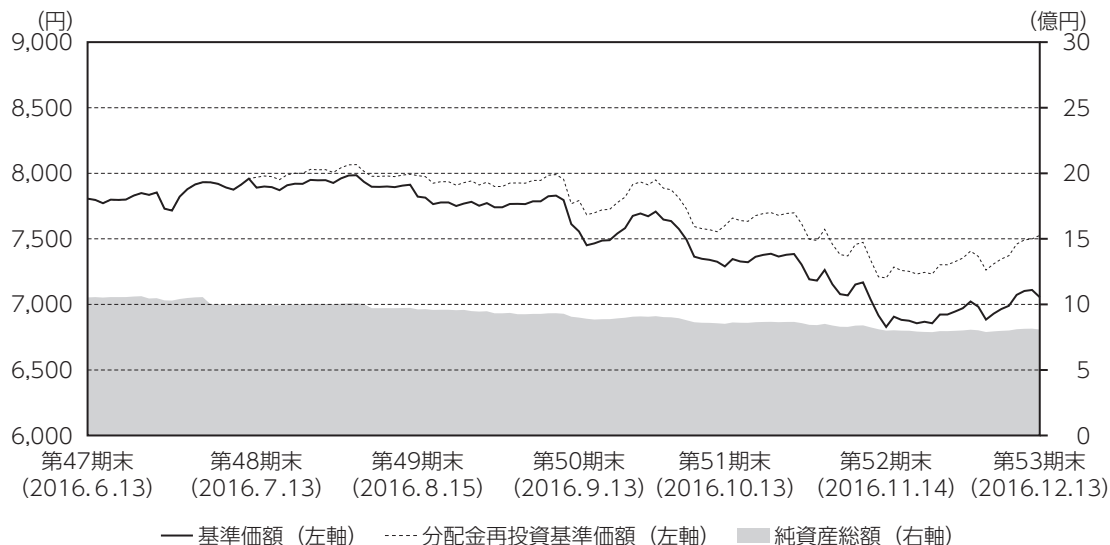
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含まず。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

## 《運用経過》

## 基準価額等の推移について



- \* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

## ■ 基準価額・騰落率

第48期首：7,806円

第53期末：7,055円 (既払分配金480円)

騰落率：△3.6% (分配金再投資ベース)

## ■ 基準価額の主な変動要因

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II グローバル・リートα・ファンド (円ヘッジクラス) (以下「リートα・ファンド (円ヘッジクラス)」) といいます。) の下落が要因となり、基準価額は下落しました。リートα・ファンド (円ヘッジクラス) については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、先進国リートが下落したことがマイナス要因となり、下落しました。オプション取引は、プラスに寄与しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国リート指数 (現地通貨建て) (参考指数)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	%	(参考指数)	%		
第48期	(期首)2016年6月13日	7,806	—	16,683	—	0.0	98.9
	6月末	7,879	0.9	17,065	2.3	0.0	99.3
	(期末)2016年7月13日	7,970	2.1	17,579	5.4	0.0	98.7
第49期	(期首)2016年7月13日	7,890	—	17,579	—	0.0	98.7
	7月末	7,961	0.9	17,843	1.5	0.0	98.8
	(期末)2016年8月15日	7,902	0.2	17,653	0.4	0.0	99.5
第50期	(期首)2016年8月15日	7,822	—	17,653	—	0.0	99.5
	8月末	7,766	△0.7	17,476	△1.0	0.0	99.0
	(期末)2016年9月13日	7,636	△2.4	17,080	△3.3	0.0	99.0
第51期	(期首)2016年9月13日	7,556	—	17,080	—	0.0	99.0
	9月末	7,647	1.2	17,248	1.0	0.0	98.7
	(期末)2016年10月13日	7,370	△2.5	16,434	△3.8	0.0	99.0
第52期	(期首)2016年10月13日	7,290	—	16,434	—	0.0	99.0
	10月末	7,182	△1.5	16,052	△2.3	0.0	98.7
	(期末)2016年11月14日	6,908	△5.2	15,667	△4.7	0.0	98.3
第53期	(期首)2016年11月14日	6,828	—	15,667	—	0.0	98.3
	11月末	7,022	2.8	16,129	3.0	0.0	98.7
	(期末)2016年12月13日	7,135	4.5	16,519	5.4	0.0	98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

## ○先進国リート市況

先進国リート市況は下落しました。第48期首から2016年7月下旬にかけては、各国中央銀行の低金利政策が維持され、主要各国の国債利回りが低下したことなどが好材料となり、上昇しました。8月に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げ観測が高まり、債券利回りが上昇したことなどが重しとなって下落しました。第53期末にかけては、米国の大統領選挙で勝利したトランプ氏の景気刺激策に市場の関心が集まり、債券利回りが大幅に上昇したことで下落基調が継続しました。

国別の現地通貨建て騰落率を見ると、香港（+8.9%）、シンガポール（+3.4%）、米国（+0.7%）が上昇しました。一方で、英国（△8.6%）やオランダ（△7.6%）が相対的に振るいませんでした。現地通貨建てのセクター別では、ホテル／リゾートや産業施設のパフォーマンスが好調だった一方で、貸倉庫や特殊用途施設などが低調でした。

## ○短期金利市況

日本では、日銀が2016年9月の金融政策決定会合で「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を導入するなど、短期金利は低位で推移しました。一方、F R Bは政策金利の誘導目標レンジを0.25～0.50%で据え置きました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

## ○当ファンド

リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

## ○リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

米国で想定される金利上昇による調整リスクはありますが、景気回復に伴う利上げは賃料や稼働率などの改善を通して、中長期的には先進国リートにとってプラス要因になるとみています。また、米国以外の大半の国や地域、特に日本とユーロ圏ではさらなる量的金融緩和政策が進められることが想定され、リート全般にとってプラス材料です。現物リートポートフォリオ部分については、米国の金利上昇の影響や、英国のEU（欧州連合）離脱懸念による影響などを勘案して、景気敏感セクターとディフェンシブ・セクターのバランスを図っています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

## ○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持しました。

### ○リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

安定的な配当が見込め、下値抵抗がある相対的に割安な銘柄を選定し、リートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、景気敏感セクターでは産業施設についておおむねオーバーウエートを維持しました。一方で、ディフェンシブ・セクターでは、ヘルスケアなどについておおむねオーバーウエートを維持しました。各種不動産については、アンダーウエートとしました。国別で見ると、オーストラリア、フランス、米国をオーバーウエートで推移させましたが、英国、香港、シンガポールはおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。リートポートフォリオに対するオプションポジションの比率であるカバー率は第48期首は83.2%、第53期末は92.2%でした。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

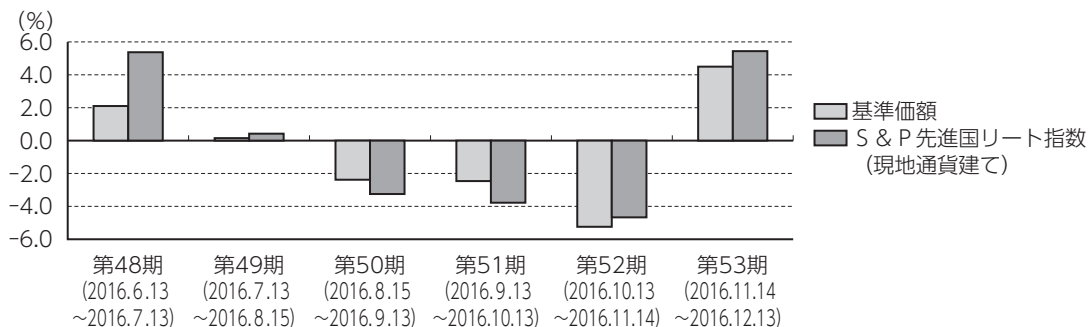
### ○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

第48期から第53期の1万口当り分配金(税込み)はそれぞれ80円といたしました。  
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## ■分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
	2016年6月14日 ~2016年7月13日	2016年7月14日 ~2016年8月15日	2016年8月16日 ~2016年9月13日	2016年9月14日 ~2016年10月13日	2016年10月14日 ~2016年11月14日	2016年11月15日 ~2016年12月13日
当期分配金(税込み) (円)	80	80	80	80	80	80
対基準価額比率 (%)	1.00	1.01	1.05	1.09	1.16	1.12
当期の収益 (円)	80	77	67	80	77	80
当期の収益以外 (円)	—	2	12	—	2	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,519	1,516	1,504	1,511	1,509	1,517

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
(a) 経費控除後の配当等収益	84.06円	77.64円	67.32円	87.50円	77.50円	88.20円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	783.81	786.90	789.28	792.43	795.78	799.18
(d) 分配準備積立金	731.34	732.32	727.58	711.77	715.94	710.04
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,599.22	1,596.87	1,584.19	1,591.70	1,589.22	1,597.43
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,519.22	1,516.87	1,504.19	1,511.70	1,509.22	1,517.43

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ○リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

米国では新政権による景気刺激策への期待に市場の関心が集まり、米国金利が大幅に上昇しています。一方で、各国の国債利回りと比較してリーートの配当利回りは依然として魅力的であり、金利高が当面のリートに与えるネガティブな影響については限定的なものになるとみています。現物リートポートフォリオ部分については、米国の金利上昇の影響や、ユーロ圏の経済の下振れリスクなどを勘案して、景気敏感セクターとディフェンシブ・セクターのバランスを図っています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

### ○ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。



## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第48期～第53期		項 目 の 概 要
	(2016.6.14～2016.12.13)		
	金 額	比 率	
信託報酬	50円	0.665%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,536円です。
(投信会社)	(16)	(0.216)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(33)	(0.433)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	50	0.669	

(注1) 期中の費用 (消費税のかかるものは消費税を含む) は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券 (マザーファンドを除く。) が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2016年6月14日から2016年12月13日まで)

決算期	第 48 期 ~ 第 53 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	986.645	63,699	3,384.788	221,332

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。  
(注2) 金額は受渡し代金。  
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2016年6月14日から2016年12月13日まで)

第 48 期 ~				第 53 期			
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	3,384.788	221,332	65

(注1) 金額は受渡し代金。  
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間 (第48期~第53期) 中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年6月14日から2016年12月13日まで)

区 分	第 48 期			第 53 期		
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	D/C
公社債	百万円 157,044	百万円 49,391	% 31.5	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	4,680.615	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%  
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間中 (第48期~第53期) 中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	第 53 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS	13,038.934	794,840	98.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

## (2) 親投資信託残高

種 類	第47期末	第 53 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 399	千口 399	千円 400

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2016年12月13日現在

項 目	第 53 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 794,840	% 97.1
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	400	0.0
コール・ローン等、その他	23,458	2.9
投資信託財産総額	818,699	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年7月13日)、(2016年8月15日)、(2016年9月13日)、(2016年10月13日)、(2016年11月14日)、(2016年12月13日)現在

項 目	第 48 期 末	第 49 期 末	第 50 期 末	第 51 期 末	第 52 期 末	第 53 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,007,819,344円</b>	<b>973,231,503円</b>	<b>910,577,173円</b>	<b>863,611,296円</b>	<b>810,562,944円</b>	<b>818,699,443円</b>
コール・ローン等	23,577,590	16,160,330	19,838,978	19,767,040	23,430,570	23,458,494
投資信託受益証券(評価額)	983,841,115	956,670,534	890,337,596	843,443,657	786,731,815	794,840,390
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	400,639	400,639	400,599	400,599	400,559	400,559
<b>(B) 負債</b>	<b>11,243,803</b>	<b>11,783,650</b>	<b>11,273,375</b>	<b>11,730,022</b>	<b>10,392,735</b>	<b>10,050,028</b>
未払収益分配金	10,104,943	9,833,366	9,521,666	9,348,384	9,374,534	9,169,635
未払解約金	-	746,082	738,698	1,386,597	-	-
未払信託報酬	1,131,973	1,190,075	992,845	968,983	986,145	843,211
その他未払費用	6,887	14,127	20,166	26,058	32,056	37,182
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>996,575,541</b>	<b>961,447,853</b>	<b>899,303,798</b>	<b>851,881,274</b>	<b>800,170,209</b>	<b>808,649,415</b>
元本	1,263,117,934	1,229,170,836	1,190,208,311	1,168,548,038	1,171,816,799	1,146,204,474
次期繰越損益金	△ 266,542,393	△ 267,722,983	△ 290,904,513	△ 316,666,764	△ 371,646,590	△ 337,555,059
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,263,117,934□</b>	<b>1,229,170,836□</b>	<b>1,190,208,311□</b>	<b>1,168,548,038□</b>	<b>1,171,816,799□</b>	<b>1,146,204,474□</b>
1万口当り基準価額(C/D)	7,890円	7,822円	7,556円	7,290円	6,828円	7,055円

\*第47期末における元本額は1,349,104,001円、当作成期間(第48期~第53期)中における追加設定元本額は30,446,126円、同解約元本額は233,345,653円です。

\*第53期末の計算口数当りの純資産額は7,055円です。

\*第53期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は337,555,059円です。

通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型)

■ 損益の状況

第48期 自2016年6月14日 至2016年7月13日 第51期 自2016年9月14日 至2016年10月13日  
 第49期 自2016年7月14日 至2016年8月15日 第52期 自2016年10月14日 至2016年11月14日  
 第50期 自2016年8月16日 至2016年9月13日 第53期 自2016年11月15日 至2016年12月13日

項 目	第 48 期	第 49 期	第 50 期	第 51 期	第 52 期	第 53 期
(A) 配当等収益	11,202,583円	10,740,787円	9,011,789円	11,199,978円	10,074,102円	10,354,041円
受取配当金	11,203,399	10,741,547	9,012,251	11,200,580	10,074,632	10,354,607
受取利息	4	-	3	1	-	1
支払利息	△ 820	△ 760	△ 465	△ 603	△ 530	△ 567
(B) 有価証券売買損益	10,647,336	△ 8,057,900	△ 30,159,073	△ 31,933,001	△ 53,800,630	25,632,462
売買益	10,860,108	123,028	309,724	297,920	37,930	25,638,985
売買損	△ 212,772	△ 8,180,928	△ 30,468,797	△ 32,230,921	△ 53,838,560	△ 6,523
(C) 信託報酬等	△ 1,138,860	△ 1,197,315	△ 998,884	△ 974,875	△ 992,143	△ 848,337
(D) 当期損益金(A+B+C)	20,711,059	1,485,572	△ 22,146,168	△ 21,707,898	△ 44,718,671	35,138,166
(E) 前期繰越損益金	△239,684,705	△221,987,313	△222,306,482	△248,258,650	△278,797,880	△324,062,544
(F) 追加信託差損益金	△ 37,463,804	△ 37,387,876	△ 36,930,197	△ 37,351,832	△ 38,755,505	△ 39,461,046
(配当等相当額)	( 99,004,975)	( 96,724,182)	( 93,941,654)	( 92,599,389)	( 93,251,273)	( 91,603,089)
(売買損益相当額)	(△136,468,779)	(△134,112,058)	(△130,871,851)	(△129,951,221)	(△132,006,778)	(△131,064,135)
(G) 合計(D+E+F)	△256,437,450	△257,889,617	△281,382,847	△307,318,380	△362,272,056	△328,385,424
(H) 収益分配金	△ 10,104,943	△ 9,833,366	△ 9,521,666	△ 9,348,384	△ 9,374,534	△ 9,169,635
次期繰越損益金(G+H)	△266,542,393	△267,722,983	△290,904,513	△316,666,764	△371,646,590	△337,555,059
追加信託差損益金	△ 37,463,804	△ 37,387,876	△ 36,930,197	△ 37,351,832	△ 38,755,505	△ 39,461,046
(配当等相当額)	( 99,004,975)	( 96,724,182)	( 93,941,654)	( 92,599,389)	( 93,251,273)	( 91,603,089)
(売買損益相当額)	(△136,468,779)	(△134,112,058)	(△130,871,851)	(△129,951,221)	(△132,006,778)	(△131,064,135)
分配準備積立金	92,890,825	89,725,419	85,089,154	84,050,935	83,602,757	82,325,870
繰越損益金	△321,969,414	△320,060,526	△339,063,470	△363,365,867	△416,493,842	△380,419,883

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■ 収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第 48 期	第 49 期	第 50 期	第 51 期	第 52 期	第 53 期
(a) 経費控除後の配当等収益	10,618,678円	9,543,456円	8,012,892円	10,225,088円	9,081,946円	10,109,961円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	99,004,975	96,724,182	93,941,654	92,599,389	93,251,273	91,603,089
(d) 分配準備積立金	92,377,090	90,015,329	86,597,928	83,174,231	83,895,345	81,385,544
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	202,000,743	196,282,967	188,552,474	185,998,708	186,228,564	183,098,594
(f) 分配金	10,104,943	9,833,366	9,521,666	9,348,384	9,374,534	9,169,635
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	191,895,800	186,449,601	179,030,808	176,650,324	176,854,030	173,928,959
(h) 受益権総口数	1,263,117,934口	1,229,170,836口	1,190,208,311口	1,168,548,038口	1,171,816,799口	1,146,204,474口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 48 期	第 49 期	第 50 期	第 51 期	第 52 期	第 53 期
1 万 口 当 り 分 配 金	80円	80円	80円	80円	80円	80円
(単 価)	(7,890円)	(7,822円)	(7,556円)	(7,290円)	(6,828円)	(7,055円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

#### 《お知らせ》

##### ●信託期間の延長について

信託期間を5年間延長し、信託期間終了日を2017年6月13日から2022年6月13日に変更しました。

## ★通貨セレクトコース (毎月分配型)

## 最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P先進国リート指数 (現地通貨建て)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
24期末(2014年7月14日)	10,825	140	0.6	13,652	1.8	0.0	99.5	27,637
25期末(2014年8月13日)	10,551	140	△ 1.2	13,659	0.1	0.0	98.7	26,200
26期末(2014年9月16日)	10,654	140	2.3	13,512	△ 1.1	0.0	98.9	25,862
27期末(2014年10月14日)	10,081	200	△ 3.5	13,471	△ 0.3	0.0	98.7	24,093
28期末(2014年11月13日)	10,716	200	8.3	14,369	6.7	0.0	98.4	26,229
29期末(2014年12月15日)	10,185	200	△ 3.1	14,747	2.6	0.0	98.6	25,649
30期末(2015年1月13日)	10,098	200	1.1	15,736	6.7	0.0	98.2	25,876
31期末(2015年2月13日)	9,527	200	△ 3.7	15,969	1.5	0.0	98.6	24,883
32期末(2015年3月13日)	9,046	200	△ 2.9	15,496	△ 3.0	0.0	99.0	24,100
33期末(2015年4月13日)	9,022	200	1.9	15,833	2.2	0.0	98.5	24,026
34期末(2015年5月13日)	8,420	200	△ 4.5	15,206	△ 4.0	0.0	98.8	21,613
35期末(2015年6月15日)	8,159	200	△ 0.7	14,898	△ 2.0	0.0	98.8	20,817
36期末(2015年7月13日)	7,992	200	0.4	14,941	0.3	0.0	98.9	19,865
37期末(2015年8月13日)	7,597	200	△ 2.4	15,266	2.2	0.0	98.9	18,190
38期末(2015年9月14日)	6,453	200	△ 12.4	14,294	△ 6.4	0.0	98.9	14,766
39期末(2015年10月13日)	6,999	140	10.6	15,319	7.2	0.0	99.3	15,652
40期末(2015年11月13日)	6,830	140	△ 0.4	15,046	△ 1.8	0.0	99.0	15,181
41期末(2015年12月14日)	6,385	140	△ 4.5	15,064	0.1	0.0	98.9	13,747
42期末(2016年1月13日)	5,982	140	△ 4.1	15,057	△ 0.0	0.0	99.0	12,778
43期末(2016年2月15日)	5,500	140	△ 5.7	14,350	△ 4.7	0.0	98.9	11,285
44期末(2016年3月14日)	5,992	140	11.5	15,893	10.8	0.0	99.0	12,123
45期末(2016年4月13日)	5,797	140	△ 0.9	16,434	3.4	0.0	99.0	11,402
46期末(2016年5月13日)	5,674	140	0.3	16,715	1.7	0.0	98.7	11,105
47期末(2016年6月13日)	5,505	140	△ 0.5	16,683	△ 0.2	0.0	98.8	10,613
48期末(2016年7月13日)	5,481	140	2.1	17,579	5.4	0.0	99.2	10,349
49期末(2016年8月15日)	5,232	140	△ 2.0	17,653	0.4	0.0	99.0	9,748
50期末(2016年9月13日)	4,936	140	△ 3.0	17,080	△ 3.3	0.0	98.9	9,114
51期末(2016年10月13日)	4,874	100	0.8	16,434	△ 3.8	0.0	98.6	8,862
52期末(2016年11月14日)	4,408	100	△ 7.5	15,667	△ 4.7	0.0	98.7	7,654
53期末(2016年12月13日)	4,968	100	15.0	16,519	5.4	0.0	98.1	8,496

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P先進国リート指数(現地通貨建て)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P先進国リート指数(現地通貨建て)の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

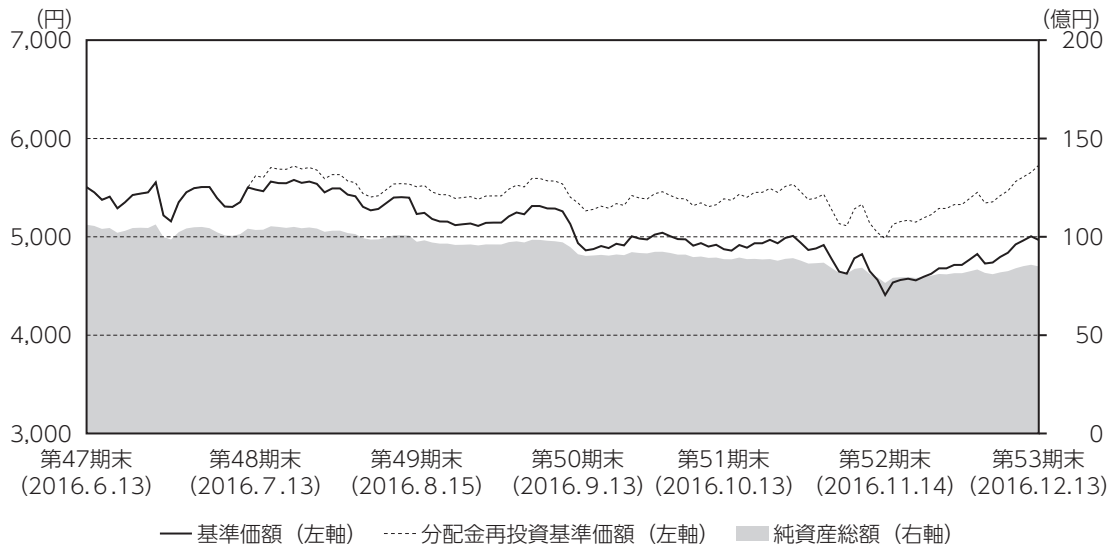
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

## 《運用経過》

## 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

## ■ 基準価額・騰落率

第48期首：5,505円

第53期末：4,968円（既払分配金720円）

騰落率：4.0%（分配金再投資ベース）

## ■ 基準価額の主な変動要因

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱーグローバル・リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）（以下「リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）」といいます。）の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、原資産通貨売り／選定通貨（※）買いの為替取引を活用した結果、先進国リートが下落したことはマイナス要因となりましたが、選定通貨が対円で上昇したことや、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラスに寄与し、上昇しました。また、オプション取引もプラスに寄与しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国リート指数 (現地通貨建て) (参考指数)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第48期	(期首)2016年6月13日	円	%		%	%	%
	6月末	5,505	-	16,683	-	0.0	98.8
	(期末)2016年7月13日	5,453	△ 0.9	17,065	2.3	0.0	99.7
第49期	(期首)2016年7月13日	5,621	2.1	17,579	5.4	0.0	99.2
	7月末	5,481	-	17,579	-	0.0	99.2
	(期末)2016年8月15日	5,492	0.2	17,843	1.5	0.0	99.8
第50期	(期首)2016年8月15日	5,372	△ 2.0	17,653	0.4	0.0	99.0
	8月末	5,232	-	17,653	-	0.0	99.0
	(期末)2016年9月13日	5,208	△ 0.5	17,476	△1.0	0.0	98.8
第51期	(期首)2016年9月13日	5,076	△ 3.0	17,080	△3.3	0.0	98.9
	9月末	4,936	-	17,080	-	0.0	98.9
	(期末)2016年10月13日	5,041	2.1	17,248	1.0	0.0	99.7
第52期	(期首)2016年10月13日	4,974	0.8	16,434	△3.8	0.0	98.6
	10月末	4,874	-	16,434	-	0.0	98.6
	(期末)2016年11月14日	4,882	0.2	16,052	△2.3	0.0	99.0
第53期	(期首)2016年11月14日	4,508	△ 7.5	15,667	△4.7	0.0	98.7
	11月末	4,408	-	15,667	-	0.0	98.7
	(期末)2016年12月13日	4,769	8.2	16,129	3.0	0.0	99.3
		5,068	15.0	16,519	5.4	0.0	98.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。



**投資環境について****○先進国リート市況**

先進国リート市況は下落しました。第48期首から2016年7月下旬にかけては、各国中央銀行の低金利政策が維持され、主要各国の国債利回りが低下したことなどが好材料となり、上昇しました。8月に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げ観測が高まり、債券利回りが上昇したことなどが重しとなって下落しました。第53期末にかけては、米国の大統領選挙で勝利したトランプ氏の景気刺激策に市場の関心が集まり、債券利回りが大幅に上昇したことで下落基調が継続しました。

国別の現地通貨建て騰落率を見ると、香港（+8.9%）、シンガポール（+3.4%）、米国（+0.7%）が上昇しました。一方で、英国（△8.6%）やオランダ（△7.6%）が相対的に振るいませんでした。現地通貨建てのセクター別では、ホテル/リゾートや産業施設のパフォーマンスが好調だった一方で、貸倉庫や特殊用途施設などが低調でした。

**○為替相場**

選定通貨は対円でまちまちとなりました。第48期首から2016年7月前半にかけては、英国のEU（欧州連合）離脱の是非を問う国民投票において離脱派が勝利し、市場のリスク回避姿勢が強まったことで、選定通貨は対円で下落しました。7月半ばには、英国のEU離脱に対するショックが収束する中、市場のリスク回避姿勢が和らいだことで、選定通貨は対円で上昇しました。しかし、7月末の日銀の金融政策決定会合において、市場の期待に届かない追加緩和となったことから円高が進み、選定通貨は対円で再び下落しました。8月以降は動意に乏しく、方向感のない動きが続きました。しかし、11月の米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利し、同氏の経済政策への期待感などから市場のリスク選好度が強まり円安が進行したことで、選定通貨は対円でおおむね上昇しました。ただし、トルコ・リラは政治的不透明感がくすぶったこと、メキシコ・ペソはトランプ氏の勝利から先行き不透明感が強まったことから、上値の重い展開となりました。

当作成期間においての選定通貨の値動きは、ブラジル・レアル、チリ・ペソ、インドネシア・ルピア、インド・ルピー、ロシア・ルーブル、南アフリカ・ランド、コロンビア・ペソは対円で上昇しました。一方、メキシコ・ペソ、トルコ・リラは対円で下落しました。

**○短期金利市況**

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。米国では政策金利の誘導目標レンジを0.25~0.50%で据え置きました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

米国で想定される金利上昇による調整リスクはありますが、景気回復に伴う利上げは賃料や稼働率などの改善を通して、中長期的には先進国リートにとってプラス要因になるとみています。また、米国以外の大半の国や地域、特に日本とユーロ圏ではさらなる量的金融緩和政策が進められることが想定され、リート全般にとってプラス材料です。現物リートポートフォリオ部分については、米国の金利上昇の影響や、英国のEU（欧州連合）離脱懸念による影響などを勘案して、景気敏感セクターとディフェンシブ・セクターのバランスを図っています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないます。選定通貨については原則として、シティ世界国債インデックスおよびJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケットズ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

○ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

**ポートフォリオについて****○当ファンド**

リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持しました。

**○リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）**

安定的な配当が見込め、下値抵抗力がある相対的に割安な銘柄を選定し、リートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、景気敏感セクターでは産業施設についておおむねオーバーウエートを維持しました。一方で、ディフェンシブ・セクターでは、ヘルスケアなどについておおむねオーバーウエートを維持しました。各種不動産については、アンダーウエートとしました。国別で見ると、オーストラリア、フランス、米国をオーバーウエートで推移させましたが、英国、香港、シンガポールはおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。リートポートフォリオに対するオプションポジションの比率であるカバー率は第48期首83.2%、第53期末92.2%でした。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行ないました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

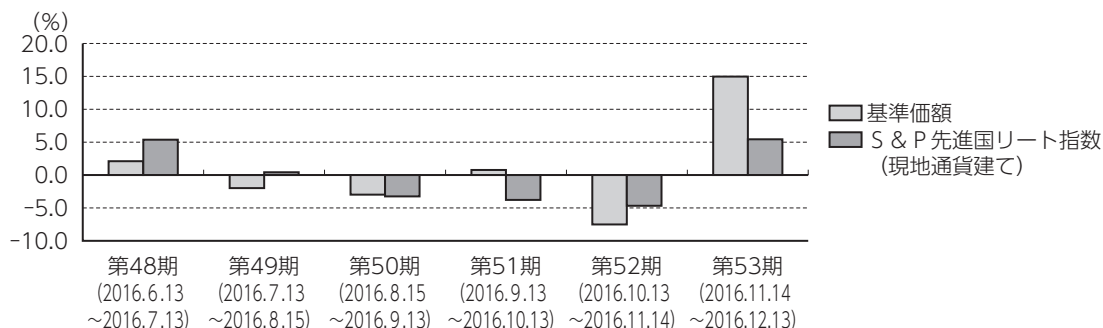
**○ダイワ・マネースtock・マザーファンド**

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第48期～第50期はそれぞれ140円、第51期～第53期は100円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
	2016年6月14日 ～2016年7月13日	2016年7月14日 ～2016年8月15日	2016年8月16日 ～2016年9月13日	2016年9月14日 ～2016年10月13日	2016年10月14日 ～2016年11月14日	2016年11月15日 ～2016年12月13日
当期分配金（税込み）（円）	140	140	140	100	100	100
対基準価額比率（％）	2.49	2.61	2.76	2.01	2.22	1.97
当期の収益（円）	88	83	81	84	86	89
当期の収益以外（円）	51	56	58	15	13	10
翌期繰越分配対象額（円）	3,589	3,532	3,474	3,459	3,445	3,435

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
(a) 経費控除後の配当等収益	88.45円	83.00円	81.69円	84.67円	86.26円	89.22円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,379.36	2,391.88	2,399.86	2,409.82	2,415.39	2,431.01
(d) 分配準備積立金	1,261.85	1,198.03	1,133.08	1,065.01	1,044.18	1,015.51
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	3,729.67	3,672.92	3,614.64	3,559.51	3,545.84	3,535.75
(f) 分配金	140.00	140.00	140.00	100.00	100.00	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	3,589.67	3,532.92	3,474.64	3,459.51	3,445.84	3,435.75

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

## 《今後の運用方針》

## ○当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

## ○リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

米国では新政権による景気刺激策への期待に市場の関心が集まり、米国金利が大幅に上昇しています。一方で、各国の国債利回りと比較してリーートの配当利回りは依然として魅力的であり、金利高が当面のリートに与えるネガティブな影響については限定的なものになるとみています。現物リートポートフォリオ部分については、米国の金利上昇の影響や、ユーロ圏の経済の下振れリスクなどを勘案して、景気敏感セクターとディフェンシブ・セクターのバランスを図っています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないます。選定通貨については原則として、シティ世界国債インデックスおよびJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケットズ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

## ○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第48期～第53期		項 目 の 概 要
	(2016.6.14～2016.12.13)		
	金 額	比 率	
信託報酬	34円	0.665%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5,088円です。
（投信会社）	(11)	(0.216)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(22)	(0.433)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	34	0.668	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2016年6月14日から2016年12月13日まで)

決算期	第 48 期 ~ 第 53 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	20,751.693	997,029	51,697.178	2,502,451

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。  
(注2) 金額は受渡し代金。  
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2016年6月14日から2016年12月13日まで)

第 48 期				~	第 53 期			
買 付		売 付		買 付		売 付		
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価	
	千口	千円	円		千口	千円	円	
				GLOBAL REIT ALPHA FUND CURRENCY SELECT CLASS(ケイマン諸島)	51,697.178	2,502,451	48	

(注1) 金額は受渡し代金。  
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間 (第48期~第53期) 中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年6月14日から2016年12月13日まで)

区 分	第 48 期			第 53 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 157,044	百万円 49,391	% 31.5	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	4,680,615	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%  
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間中 (第48期~第53期) 中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 53 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
GLOBAL REIT ALPHA FUND CURRENCY SELECT CLASS	170,458.412	8,333,711	98.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第47期末		第 53 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 99	千口 99	千口 99	千円 100

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年12月13日現在

項 目	第 53 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 8,333,711	% 95.5
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	391,163	4.5
投資信託財産総額	8,724,975	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年7月13日)、(2016年8月15日)、(2016年9月13日)、(2016年10月13日)、(2016年11月14日)、(2016年12月13日)現在

項 目	第 48 期 末	第 49 期 末	第 50 期 末	第 51 期 末	第 52 期 末	第 53 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>10,667,215,392円</b>	<b>10,036,612,744円</b>	<b>9,395,697,844円</b>	<b>9,078,461,835円</b>	<b>7,889,419,362円</b>	<b>8,724,975,128円</b>
コール・ローン等	403,989,210	384,056,369	379,838,468	343,934,654	331,973,737	391,163,216
投資信託受益証券(評価額)	10,263,126,022	9,652,456,215	9,015,759,226	8,734,427,031	7,557,345,485	8,333,711,772
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	100,160	100,160	100,150	100,150	100,140	100,140
<b>(B) 負債</b>	<b>317,629,505</b>	<b>287,615,062</b>	<b>281,396,616</b>	<b>215,864,675</b>	<b>234,612,188</b>	<b>228,451,091</b>
未払収益分配金	264,380,375	260,879,904	258,500,149	181,848,571	173,664,108	171,040,550
未払解約金	41,893,681	14,283,291	12,467,489	23,824,262	50,633,016	48,440,121
未払信託報酬	11,286,641	12,308,024	10,222,817	9,925,178	9,987,517	8,590,509
その他未払費用	68,808	143,843	206,161	266,664	327,547	379,911
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>10,349,585,887</b>	<b>9,748,997,682</b>	<b>9,114,301,228</b>	<b>8,862,597,160</b>	<b>7,654,807,174</b>	<b>8,496,524,037</b>
元本	18,884,312,547	18,634,278,879	18,464,296,413	18,184,857,182	17,366,410,864	17,104,055,021
次期繰越損益金	△ 8,534,726,660	△ 8,885,281,197	△ 9,349,995,185	△ 9,322,260,022	△ 9,711,603,690	△ 8,607,530,984
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>18,884,312,547□</b>	<b>18,634,278,879□</b>	<b>18,464,296,413□</b>	<b>18,184,857,182□</b>	<b>17,366,410,864□</b>	<b>17,104,055,021□</b>
1万口当り基準価額(C/D)	5,481円	5,232円	4,936円	4,874円	4,408円	4,968円

\*第47期末における元本額は19,278,182,453円、当作成期間（第48期～第53期）中における追加設定元本額は995,646,687円、同解約元本額は3,169,774,119円です。

\*第53期末の計算口数当りの純資産額は4,968円です。

\*第53期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は8,607,530,984円です。



通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型)

■損益の状況

第48期 自2016年6月14日 至2016年7月13日 第51期 自2016年9月14日 至2016年10月13日  
 第49期 自2016年7月14日 至2016年8月15日 第52期 自2016年10月14日 至2016年11月14日  
 第50期 自2016年8月16日 至2016年9月13日 第53期 自2016年11月15日 至2016年12月13日

項 目	第 48 期	第 49 期	第 50 期	第 51 期	第 52 期	第 53 期
(A) 配当等収益	175,743,244円	167,057,548円	161,127,436円	163,965,540円	159,867,401円	153,781,182円
受取配当金	175,750,130	167,064,033	161,132,894	163,971,182	159,873,947	153,787,862
受取利息	33	17	5	15	27	16
支払利息	△ 6,919	△ 6,502	△ 5,463	△ 5,657	△ 6,573	△ 6,696
(B) 有価証券売買損益	53,652,469	△ 357,274,482	△ 438,087,617	△ 86,028,400	△ 785,103,968	975,742,889
売買益	72,283,689	4,157,632	2,277,917	2,087,162	9,619,858	988,663,512
売買損	△ 18,631,220	△ 361,432,114	△ 440,365,534	△ 88,115,562	△ 794,723,826	△ 12,920,623
(C) 信託報酬等	△ 11,355,449	△ 12,383,059	△ 10,285,135	△ 9,985,681	△ 10,048,400	△ 8,642,873
(D) 当期繰越益金(A+B+C)	218,040,264	△ 202,599,993	△ 287,245,316	67,951,459	△ 635,284,967	1,120,881,198
(E) 前期繰越損益金	△ 9,721,437,516	△ 9,540,667,979	△ 9,843,785,503	△ 10,139,371,819	△ 9,740,424,430	△ 10,239,404,226
(F) 追加信託差損益金	1,233,050,967	1,118,866,679	1,039,535,783	931,008,909	837,769,815	682,032,594
(配当等相当額)	( 4,493,263,431)	( 4,457,106,448)	( 4,431,188,891)	( 4,382,232,783)	( 4,194,673,448)	( 4,158,027,209)
(売買損益相当額)	(△ 3,260,212,464)	(△ 3,338,239,769)	(△ 3,391,653,108)	(△ 3,451,223,874)	(△ 3,356,903,633)	(△ 3,475,994,615)
(G) 合計(D+E+F)	△ 8,270,346,285	△ 8,624,401,293	△ 9,091,495,036	△ 9,140,411,451	△ 9,537,939,582	△ 8,436,490,434
(H) 収益分配金	△ 264,380,375	△ 260,879,904	△ 258,500,149	△ 181,848,571	△ 173,664,108	△ 171,040,550
次期繰越損益金(G+H)	△ 8,534,726,660	△ 8,885,281,197	△ 9,349,995,185	△ 9,322,260,022	△ 9,711,603,690	△ 8,607,530,984
追加信託差損益金	1,233,050,967	1,118,866,679	1,039,535,783	931,008,909	837,769,815	682,032,594
(配当等相当額)	( 4,493,263,431)	( 4,457,106,448)	( 4,431,188,891)	( 4,382,232,783)	( 4,194,673,448)	( 4,158,027,209)
(売買損益相当額)	(△ 3,260,212,464)	(△ 3,338,239,769)	(△ 3,391,653,108)	(△ 3,451,223,874)	(△ 3,356,903,633)	(△ 3,475,994,615)
分配準備積立金	2,285,585,466	2,126,238,122	1,984,497,552	1,908,846,104	1,789,524,985	1,718,508,212
繰越損益金	△ 12,053,363,093	△ 12,130,385,998	△ 12,374,028,520	△ 12,162,115,035	△ 12,338,898,490	△ 11,008,071,790

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	第 48 期	第 49 期	第 50 期	第 51 期	第 52 期	第 53 期
(a) 経費控除後の配当等収益	167,043,834円	154,674,487円	150,842,300円	153,979,858円	149,819,000円	152,604,887円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	4,493,263,431	4,457,106,448	4,431,188,891	4,382,232,783	4,194,673,448	4,158,027,209
(d) 分配準備積立金	2,382,922,007	2,232,443,539	2,092,155,401	1,936,714,817	1,813,370,093	1,736,943,875
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	7,043,229,272	6,844,224,474	6,674,186,592	6,472,927,458	6,157,862,541	6,047,575,971
(f) 分配金	264,380,375	260,879,904	258,500,149	181,848,571	173,664,108	171,040,550
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	6,778,848,897	6,583,344,570	6,415,686,443	6,291,078,887	5,984,198,433	5,876,535,421
(h) 受益権総口数	18,884,312,547□	18,634,278,879□	18,464,296,413□	18,184,857,182□	17,366,410,864□	17,104,055,021□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 48 期	第 49 期	第 50 期	第 51 期	第 52 期	第 53 期
1 万 口 当 り 分 配 金	140円	140円	140円	100円	100円	100円
(単 価)	(5,481円)	(5,232円)	(4,936円)	(4,874円)	(4,408円)	(4,968円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

#### 《お知らせ》

##### ●信託期間の延長について

信託期間を5年間延長し、信託期間終了日を2017年6月13日から2022年6月13日に変更しました。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド  
円ヘッジクラス／通貨セレクトクラス

当ファンド（通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース（毎月分配型）／通貨セレクトコース（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド 円ヘッジクラス／通貨セレクトクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2016年12月13日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

## 貸借対照表

2016年2月29日

	(円)
<b>資産</b>	
担保付スワップ投資、公正価値（取得原価： 45,096,414,834円）	30,696,132,564
デリバティブ金融商品、公正価値	616,731,457
未収利息	5,935,100
<b>資産計</b>	<b><u>31,318,799,121</u></b>
<b>負債</b>	
デリバティブ金融商品、公正価値	429,758,114
未払報酬代理店報酬	5,935,100
<b>負債計</b>	<b><u>435,693,214</u></b>
<b>償還可能受益証券保有者帰属純資産</b>	<b><u>30,883,105,907</u></b>
帰属先別純資産：	
ノンヘッジクラス受益証券	5,780,731,398
円ヘッジクラス受益証券	13,300,642,067
通貨セレクトクラス受益証券	11,705,563,586
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	51,712,459
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	44,456,397
発行済受益証券：	
ノンヘッジクラス受益証券	62,003,889.45
円ヘッジクラス受益証券	201,490,403.05
通貨セレクトクラス受益証券	225,340,586.69
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	662,988.27
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	538,075.32
受益証券一口当り純資産価値：	
ノンヘッジクラス受益証券	93.231
円ヘッジクラス受益証券	66.011
通貨セレクトクラス受益証券	51.946
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	77.999
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	82.621

## 包括利益計算書

2016年2月29日に終了した年度

(円)

手数料収入	7,844,608,858
担保付スワップ投資純損失	(12,976,404,884)
デリバティブ純利益	457,026,244
<b>投資純損失</b>	<b><u>(4,674,769,782)</u></b>
営業経費	138,101,114
<b>営業経費計</b>	<b><u>138,101,114</u></b>
金融費用支払前営業利益	<u>(4,812,870,896)</u>
償還可能受益証券保有者への分配	<u>(7,706,507,744)</u>
<b>分配金支払後の償還可能受益証券保有者帰属純資産変動</b>	<b><u>(12,519,378,640)</u></b>

## デリバティブ金融商品（為替先渡契約）

満期日	契約数	公正価値 (円)
2016年3月10日	18	113,553,398
2016年3月24日	44	73,419,945
<b>公正価値</b>		<b><u>186,973,343</u></b>

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース（毎月分配型）／通貨セレクトコース（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2016年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第53期の決算日（2016年12月13日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を28ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄  
公 社 債

(2016年6月14日から2016年12月13日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
601 国庫短期証券	2016/7/19	18,510,383			
613 国庫短期証券	2016/9/12	18,220,258			
611 国庫短期証券	2016/9/5	15,210,394			
609 国庫短期証券	2016/8/22	8,580,187			
629 国庫短期証券	2016/11/28	8,570,294			
610 国庫短期証券	2016/8/29	7,920,152			
619 国庫短期証券	2016/10/11	7,720,160			
607 国庫短期証券	2016/8/15	7,700,132			
632 国庫短期証券	2016/12/12	7,380,262			
620 国庫短期証券	2016/10/17	7,150,250			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2016年12月13日現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンド（42,568,510千口）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2016年12月13日現在							
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国債証券	千円 4,990,000	千円 4,990,137	% 11.7	% -	% -	% -	% 11.7

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2016年12月13日現在						
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	634 国庫短期証券		%	千円 2,070,000	千円 2,070,033	2016/12/19
	635 国庫短期証券		-	2,920,000	2,920,103	2016/12/26
合 計	銘 柄 数 金 額	2銘柄		4,990,000	4,990,137	

(注) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネースtock・マザーファンド

## 運用報告書 第7期 (決算日 2016年12月9日)

(計算期間 2015年12月10日～2016年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第7期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

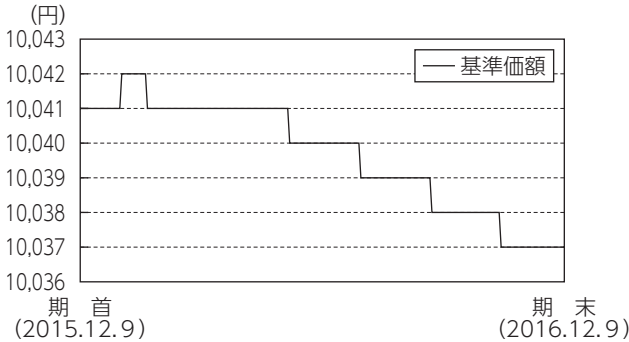
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率 %
	騰 落 率 %	騰 落 率 %	
(期首)2015年12月9日	10,041	-	51.6
12月末	10,041	0.0	51.7
2016年1月末	10,042	0.0	90.7
2月末	10,041	0.0	51.1
3月末	10,041	0.0	2.0
4月末	10,041	0.0	7.5
5月末	10,040	△0.0	0.1
6月末	10,040	△0.0	2.0
7月末	10,039	△0.0	19.3
8月末	10,038	△0.0	46.5
9月末	10,038	△0.0	26.0
10月末	10,037	△0.0	3.4
11月末	10,037	△0.0	26.6
(期末)2016年12月9日	10,037	△0.0	29.1

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,041円 期末：10,037円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は量的・質的金融緩和を継続し、2016年1月にはマイナス金利付き量的・質的金融緩和の導入を、9月には長短金利操作付き量的・質的金融緩和の導入を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利は低下しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。  
 (注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

国 内	買 付 額	売 付 額
国債証券	215,986,756	2,822,446 (233,210,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

買 付			売 付		
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
591	国庫短期証券 2016/5/30	18,690,605	575	国庫短期証券 2016/6/10	1,500,603
601	国庫短期証券 2016/7/19	18,510,383	342	2年国債 0.1% 2016/7/15	720,475
613	国庫短期証券 2016/9/12	18,220,258	100	5年国債 0.3% 2016/9/20	601,368
611	国庫短期証券 2016/9/5	15,210,394			
596	国庫短期証券 2016/6/20	11,560,241			
588	国庫短期証券 2016/5/16	9,500,428			
609	国庫短期証券 2016/8/22	8,580,187			
629	国庫短期証券 2016/11/28	8,570,294			
610	国庫短期証券 2016/8/29	7,920,152			
619	国庫短期証券 2016/10/11	7,720,160			

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期		期 末		
	額面金額	評 価 額	組入比率	うち8B格以下 組入比率	残存期間別組入比率
	千円	千円	%	%	%
国債証券	12,370,000	12,370,239	29.1	-	29.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。  
 (注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入力している。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	当 期		期 末	
		年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
国債証券	632 国庫短期証券	-	7,380,000	7,380,059	2016/12/12
	634 国庫短期証券	-	2,070,000	2,070,043	2016/12/19
	635 国庫短期証券	-	2,920,000	2,920,135	2016/12/26
合計	銘柄数 金額	3銘柄	12,370,000	12,370,239	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年12月9日現在

項 目	当 期		期 末	
	評 価 額	比 率	千円	%
公社債	12,370,239	27.2		
コール・ローン等、その他	33,049,576	72.8		
投資信託財産総額	45,419,816	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月9日現在

項 目	当 期	期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>45,419,816,005円</b>	
コール・ローン等	33,049,294,532	
公社債(評価額)	12,370,239,552	
その他未収収益	281,921	
<b>(B) 負債</b>	<b>2,970,027,930</b>	
未払金	1,470,027,930	
未払解約金	1,500,000,000	
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>42,449,788,075</b>	
元本	42,294,564,193	
次期繰越損益金	155,223,882	
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>42,294,564,193口</b>	
<b>1万口当り基準価額(C/D)</b>	<b>10,037円</b>	

\* 期首における元本額は62,535,131,959円、当期中における追加設定元本額は110,785,944,225円、同解約元本額は131,026,511,991円です。  
 \* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジあり) 3,021,993円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジなし) 1,018,149円、ダイワ米国バンクロー

ン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド - ロボテック-49,795,838円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、アジア高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、U S短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 3,988,832円、U S短期高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 4,984円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド - ロボテック - (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、ダイワ上場投信 - 日経平均レバレッジ・インデックス13,026,074,887円、ダイワ上場投信 - 日経平均グローバルインバース・インデックス7,057,921,466円、ダイワ上場投信 - T O P I Xレバレッジ(2倍) 指数1,434,536,786円、ダイワ上場投信 - T O P I Xダブルインバース(-2倍) 指数757,087,194円、ダイワ上場投信 - 日経平均インバース・インデックス11,055,796,865円、ダイワ上場投信 - T O P I Xインバース(-1倍) 指数2,230,635,146円、ダイワ上場投信 - J P X日経400レバレッジ・インデックス901,494,652円、ダイワ上場投信 - J P X日経400インバース・インデックス4,402,808,262円、ダイワ上場投信 - J P X日経400ダブルインバース・インデックス31,802,045円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ・ブルベア・セレクト・マネー・ポートフォリオ185,052,355円、ダイワ・ブルベア・セレクト・ドル高円安ポートフォリオ160,376,323円、ダイワ・ブルベア・セレクト・円高ドル安ポートフォリオ76,963,963円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S L Tレード-48,811,188円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の権音(つちおと) - 11,000,000円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド、マネー・ポートフォリオ395,846,364円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド、マネー・ポートフォリオ91,481,943円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 豪ドル・コース(毎月分配型) 4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 4,981,569円、ダイワU S短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 199,295円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレアセット亜細亜株ファンド9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 米ドル・コース4,980,080円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) ブラジル・レアル・コース12,948,208円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 通貨セレクト・コース3,685,259円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) - 100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり) 2,088,438円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし) 1,012,911円、ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 日本円・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 豪ドル・コース(毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 米ドル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイⅡ - 予想分配金提示型 日本円・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイⅡ - 予想分配金提示型 豪ドル・コース499,994円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイⅡ - 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース1,496,804円、



通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型  
 米ドル・コース9,976,045円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグル  
 アイII- 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース2,001,563円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,037円です。

■ 損益の状況

当期 自2015年12月10日 至2016年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 16,210,382円
受取利息	△ 3,627,074
その他収益金	281,921
支払利息	△ 12,865,229
(B) 有価証券売買損益	△ 1,217,528
売買益	236,035
売買損	△ 1,453,563
(C) その他費用	△ 176,405
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 17,604,315
(E) 前期繰越損益金	256,659,974
(F) 解約差損益金	△525,706,324
(G) 追加信託差損益金	441,874,547
(H) 合計(D + E + F + G)	155,223,882
次期繰越損益金(H)	155,223,882

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。